

支那労働者との提携

八月二十日第三回中央常任委員会日、各埠、上海南京路事件を議題として、支那全土に於ける、大崩壊主義の提議、運動に對し、各埠評議会として、態度を表明すると共に、三田村喜作委員の提議して支那の各埠労働者を訪問せしめ、評議会創立大会の、極東労働者提携に際する決議並に日支両国労働者の提携に對する希望を發表せられた。

この訪問並に彼が支那各埠に於ける労働者との懇話を旨とする態度は、支那の労働階級に多大なる感銘を與へ、支那に於ける全國的一大労働團體たる中華全國總工会上海總工會は、八月十七日、上海總工會本部に臨時總會を開き、日支労働組合提携促進の決議を爲し、その決議文を代表に託して、各埠評議会に送り、尚ほ支那各埠の連徒同盟へも送附する様依頼せられた。

第五回常任委員会は、この決議文を總工會の希望に於て、一語を空白置く譯さずると共に、員会又を決議文、労働階級、労働階級、第四号に掲載し、一紙委員の發給し、この決議文を各埠会として支那労働組合の各埠評議会に發給せられ、現在極東各埠に出版物の交換を行つてゐる。

ロシア労働代表招待

七月二十七日第五回中央常任委員会、第二回中央常任委員会は、他埠及国外と協同して朝鮮支那に來訪中を傳へられ、わがトイツの國際労働者教育委員代表及び、ロシア労働組合代表を日本に來訪を日本に招待することゝ決議した。

而して彼等代表に日本に來訪の可否を懇話せられた所、レオと近介と日本に於ける教育に直結を旨とし、日本に行くと云ふは難かしいと云ふ近介に接し、近介は、彼等を招待することには絶望だと返つてゐた。然るに九月十七日、突然レオと近介とが日本に來訪すると云ふ小懇談に接した。レオと近介と、大夜に開かれ、面談は、政府準備委員会第一回銀價調査委員会に出席せる全国の各埠労働者の代表と共に、其の旨を懇話し、共に共同してレオと近介一行を迎へんことを懇請した結果、各代表の同意を得、各評議会は、更めて各埠会へレオと近介の來朝の案内状を郵送、各埠評議会の委員を來した。

而して、評議会として九月二十日野田、新田、三田村、白井の四君亦下関に一舟を出迎へ、飯路海岸に案内した。途中、廣島、岡山、神戶、大阪、京都、名古屋、各埠、横濱に於ては、それ程、各埠会の代表が盛大に一行を出迎へた。然して着岸後更めて各地を訪問し、吾等も又盛大な歓迎会を催す筈であつたが、